

杉並区議会議員(無所属)

岩田いくま 区政報告

第32号(平成23年秋号)

発行:岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX;03-3247-8660 E-Mail;ikuma@gakushikai.jp
HP;http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています！)

岩田いくま(生真)略歴:昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。
外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。
平成23年5月より3期目。

趣味:バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。
家族:妻、長男(8歳)、長女(6歳)、次男(3歳)。

平成22年度決算、財政悪化の兆しあり

平成22年度杉並区各会計決算が認定されました。

下記は、近10年の年度毎の(1)財政健全化度(A+B)(2)主な歳入(C+D)の推移です。

平成22年度は、この指標で見る限り、「貯金を取り崩してしのいだ年」といえます。

(単位:億円)

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
基金残高の増分+区債残高の減分(A)	117	165	53	93	134	216	130	69	5	-58
債務負担行為の減分(B)	-19	-274	21	-1	11	-84	2	33	44	13
(A)+(B) 財政健全化度	98	-109	74	92	145	132	132	102	49	-45
区民税(C)	530	530	521	504	525	608	597	597	594	559
財政交付金(D)	301	265	275	291	340	368	406	390	317	338
(C)+(D) 主な歳入	831	795	796	795	865	976	1003	987	911	897

景気の悪化に伴う税収等の減少により、**財政悪化の兆し**が見てとれます。

しかし、平成17年度までは、平成22年度よりも厳しい歳入状況にもかかわらず、しっかりとした行財政改革への取組みにより財政は健全化していました(平成14年度に債務負担行為が大きく増えているのは、杉並公会堂の建替えに伴う負担です)。

厳しい経済状況であることは理解していますが、だからといって将来世代に負担をつけまわすことは決して行ってはなりません。昨夏の区長交代に伴い、今年度中に今後10年を見据えた新たな総合計画を策定予定ですが、そのなかに

「財政規律を確保するための財政運営の指針」

を盛り込んでいく必要があると考えます。

9月28日の決算特別委員会において、上記を含めた「財政規律」について、質問を行いました。

決算特別委員会での質疑の様子は杉並区議会公式HPで録画放映を行っておりますので、よろしければご覧ください。

http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/vod_iinkai/vod_iinkaitop.htm



決算特別委員会

決算特別委員会においては、1ページでご紹介した「財政規律」の問題の他、「区役所本庁の日曜閉庁」「障害者施策」「バリアフリー／高齢者施策」「生活保護」等について質問を行いました。そのなかから、いくつかをご紹介します。

岩田いくまの質問

【障害者施策】

区の答弁

障害を持っている方の親御さんの高齢化は、当区でも深刻な問題となっている。現在の区の対応状況はどうなっているか。



区としても、障害者の親の高齢化の問題は、非常に重要な課題だと認識している。障害者の方々が住み慣れた地域で自立して生活できるよう、今後もショートステイやグループホームの拡充を図っていきたい。

障害者団体連合会において、災害時に障害者が困ることをまとめたパンフレットを作成している。わかりやすい内容なので、連合会と相談のうえ、区のパンフレットとして作成し、区民への啓発資料としてはどうか。

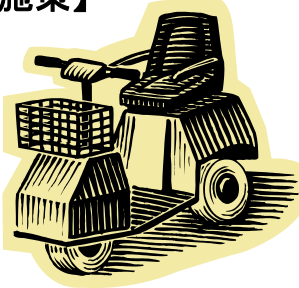


災害時要援護者への対応を検討するなかで、考えていきたい。



【高齢者施策】

足腰が弱ってきた方の移動手段として、電動車いすが少しずつ普及してきている。しかし、区の自転車駐車場には、電動車いすを預けることができない。利用できるようにすべきではないか。



部門を超えた連携を進めながら、考えていきたい。
(岩田注)電動車いすは、介護保険の対象でもあり、所管は保健福祉部。一方、自転車駐車場の所管は都市整備部。

会派活動

杉並区議会内最大会派「杉並自民区政クラブ」の政務調査担当幹事として、会派での活動も多々あります。今回は、夏に行った主な活動について、ご紹介いたします。

【各種団体との政策懇談会】

8月下旬、区内で活動する各種の団体の皆様と、会派として政策懇談会を行いました。4日間で**30団体の方と意見交換**を行い、区政に関する様々なご意見やご指摘をいただきました(私は、懇談会の進行を担当いたしました)。いただいた貴重なご意見は、決算特別委員会等において各議員が質問の参考とさせていただき、また質疑の結果については、とりまとめたうえで各団体へ連絡させていただきました。



【新たな総合計画への提言】

9月上旬、行政が新たな総合計画(区政全般に関する今後10年の長期計画)を策定するにあたり、会派として提言を行いました。会派内で検討部会を設置し、多くの議論を重ねたうえで、目指すべき区政のキーワードとして
①自主自立 ②多様性と絆 ③ふるさと ④財政規律の4つを設定。また、分野別の重点施策もとりまとめました。こうした積み重ねのなかから、「会派としての政策提言力」が上がっていくのではないかと考えています。

視察報告

今夏は、①資産管理 ②生活交通 ③スポーツ振興 ④議会改革の4点に重点をおいて、いくつかの自治体へ視察を行ってまいりました。

日程	視察先	視察テーマ
7/5(火)	三重県	議会改革(議会基本条例等)
7/6(水)	浜松市	①資産経営推進方針 ②スポーツ振興基本計画
7/25(月)	熊本市	橋梁長寿命化修繕計画
7/26(火)	小郡市	①議会基本条例 ②コミュニティバス
7/27(水)	福岡市	①生活交通確保条例 ②スポーツ振興計画
8/24(水)	流山市	議会改革(議会への情報通信技術の積極導入等)
	柏市	議会改革(議場への大型スクリーン導入等)

【資産管理】

浜松市では、**資産経営推進方針**を策定のうえ施設別カルテの作成や施設

評価を行い、合併に伴う保有資産(庁舎等公共施設)の適正化を図っています。

熊本市では、更新時期を迎える橋の維持管理に「**予防保全**」という考え方を取り入れ、コスト縮減と長寿命化を図っています。

杉並区では、区有施設の維持・更新に、今後30年間で約2,700億円必要、という試算が出ております。施設の再配置も含め、いかに効率的に資産管理を行っていくか、長期を見据えて検討・決定していく必要があります。

【生活交通】

福岡市では、議員提案で「公共交通空白地等及び移動制約者に係る生活交通の確保に関する条例」が制定されています。この条例では、「公共交通空白地(バス停及び鉄道駅から1Km以上離れた地域)」や「公共交通不便地(バス停から500m、鉄道駅から1Km以上離れた地域)」等、一定の基準を定義し、それぞれに応じて対応を図るように定めています。

杉並区においては、南北バス「すぎ丸」を3路線(けやき・さくら・かえで路線)設定し、南北方向の交通不便解消を図ってきましたが、今後はさらなる高齢社会の進展を見据え、循環ルートの設定や乗合タクシーの活用等、生活交通の確保に向けて一層知恵を絞っていくことが必要だと考えます。



小郡市のコミュニティバス

【スポーツ振興】

浜松市、福岡市とも、スポーツを「する」「見る」「支える」の3つの視点から捉え、施策の体系化を図っています。

国会においても6月に「スポーツ基本法」が成立し、スポーツを通じた地域活性化やまちづくりが改めて注目を集めております。

杉並区議会でも、10月に「スポーツ振興議員連盟」が立ち上がりました。

スポーツは、健康維持、地域活性化、子供の健全育成等、多面的な価値を潜在的に持っています。

地域の大人の一人としてスポーツ振興に取り組むとともに、議員として「スポーツをする・見る・支える」環境づくりに積極的に取り組んでいきたいと思っております。

【運動会ゲストティーチャー】

今年も、小学校の授業に、運動会のゲストティーチャー(よさこいソーラン節踊りの指導)として参加しました。

授業を行ったのは、5日間で6授業。

例年通り、3・4年生合同でしたので、4年生には3年生のリーダー役も担ってもらいました。

運動会当日、子供達は元気一杯に格好いい踊りを披露してくれました。

また、運動会の翌週には、先生の計らいでもう一度授業に参加。そこで子供達から嬉しい手紙ももらいました。

既に私にとってのライフワークとなっていますので、来年も是非参加したいと思っています。



＜キリトリ＞線

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

お名前:

ご住所:

TEL:

E-Mail:

質問・ご意見・ご要望:

【学校に泊まろう会】



7月30日～31日、小学校の「学校に泊まろう会」に実行委員長として参加しました。

今回は、東日本大震災後の実施ということもあり、冒頭に南相馬市及び石巻市の被災の様子を写真で説明。

その後、例年通り、防災倉庫の見学・校庭へのテント設営・火起こし体験・食事準備(カレーとハッシュドビーフ)を行いました。

子供達は、夜はテントで就寝ですが、残念ながら夜9時頃豪雨に。。。校庭に水が浮くような状態のため、急遽就寝場所を体育館へと移動しました。

また、明け方には地震も発生。幸い大きな地震ではなかったので、何事もなくすみしました。

翌朝は防災食を配布し、解散。

色々な事が起きた2日間でしたが、子供達が様々な経験ができる機会を、今後も作っていきたいと思います。

＜キリトリ＞線

FAX:03-3247-8660

E-Mail: ikuma@gakushikai.jp

FAX: